



キーラー直像鏡

【警告】

- ・本製品を落下させたり、強い衝撃を与えると故障の原因となる恐れがある。
- ・本製品は精密医療機器であり、知識及び経験のない者が分解しないこと。
- ・本製品を改造しないこと。

【禁忌・禁止】

- ・可燃性ガスの前では使用しないこと。爆発の恐れがある。
- ・いかなる液体にも浸さないこと。故障の原因になる。
- ・故障・損傷の際には使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 外観図、構造



本製品は機器上部の眼底観察部を通して患者の被検眼の眼底状態等の眼球内部を観察するもので、下部ハンドル内には電池（乾電池または充電電池）が組み込まれており、眼底観察部に組み込まれた光源部より患者の被検眼に光を与えることで検眼時の照明としている。

なお、ポケット直像鏡以外の型式名称のものにはそれぞれ乾電池式と充電電池式のものが用意されており、その形式に伴って照明用光源ランプも異なる。

2. 品目仕様等

眼底観察部には補正レンズ及び光束制御用フィルターが組み込まれており、患者の眼球観察を容易にする。

型式名称毎に組み込まれている補正レンズの範囲及び光束制御用フィルターの種類は次のとおり。

型式名称	補正レンズの範囲
	光束制御用フィルター
スタンダード直像鏡	+4.0 D ~ -2.5 D ①、③、⑦
スペシャリスト直像鏡	+4.4 D ~ -4.5 D ①、②、③、④、⑤、⑦
プロフェッショナル直像鏡	+2.9 D ~ -3.0 D ①、②、③、④、⑤、⑥、⑦
プラクティショナー直像鏡	+4.0 D ~ -2.5 D ①、②、③、④、⑤、⑦、⑧
ポケット直像鏡	+2.0 D ~ -2.0 D ①、②、③、④、⑤、⑦

光束制御用フィルターの内容は次のとおり。

	フィルター名称	表示
	フィルター用途	
①	広視野用フィルター	
	眼底の最大領域を照射するのに有効	
②	中視野用フィルター	
	非散瞳周辺部の観察、特に小児に有効	
③	黄斑部用フィルター	
	黄斑部の検査に有効	
④	スリット光用フィルター	
	前眼部深度の評価に有効	
⑤	固視指標用フィルター	
	網膜上に指標を投影する	
⑥	緑内障検査指標用フィルター	
	陥門対乳頭比評価用指標を投影する	
⑦	レッドフリーフィルター	
	赤色光を除去し、血管検査時に使用する	
⑧	コバルトブルーフィルター	
	角膜上の傷を観察する際に使用する	

【使用目的又は効果】

本製品は眼球内部の検査に用いる手持ち型医療機器であり、患者の被検眼に照明を当て、補正レンズを用いて眼球内部を拡大して観察する。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

【使用方法等】

1. ヘッド部背面の被検眼レンズ用保護蓋のツバを引いて蓋を開放する（ポケット直像鏡にはこの機能はありません）。
2. ヘッド部背面のダイヤルを回して検査に適したフィルターを選択する（ポケット直像鏡のフィルター選択ダイヤルはヘッド部前面にあります）。
3. プラクティショナー直像鏡の「レッドフリーフィルター」と「コバルトブルーフィルター」との切り換えはヘッド部背面の切り替えスイッチにて行う。
4. 本体中央のダイヤル式電源スイッチを投入し、光源ランプが点灯する事を確認する。

ダイヤル式電源スイッチで光源ランプの光量を調整出来るが、光量が弱い時には使用を中止し、乾電池を新しいものに交換するか、充電電池を充電した後使用する。

光源ランプが点灯しない場合にはランプ切れの可能性があるので、ランプを交換する。光源ランプには2種類あるので、必ず型式番号に合致するランプに交換すること。

なお、ランプ交換を実施する際には安全のために必ず電源スイッチを切ってから行うこと。

また、検査途中で光源ランプの交換を実施する場合、使用中の光源ランプが発熱しているので注意して実施すること。

（約2時間で充電が完了し、最大光量で約2時間の使用が可能。）

5. 設定が完了した後、本体を患者の被検眼に近付ける。
6. ヘッド部側面の補正レンズ調整用ダイヤルを回して検査に適した拡大倍率を設定し、検査を実施する。
7. 検査終了後は必ずダイヤル式電源スイッチを切ること。
8. 本製品が汚れた場合には、レンズ表面の汚れはレンズ清掃用布で清掃するか、埃等はブロアーで空気を吹き付けて清掃すること。
本体外装の汚れは中性洗剤を塗布した布等で拭くこと。
9. ヘッド部後ろ側の被検眼レンズ用保護蓋のツバを押して蓋をする。
（ポケット直像鏡にはこの機能はありません）。
10. 本製品は精密医療機器であり、埃等の付着を防ぐために使用後は必ず専用ケースに入れて保管すること。

【使用上の注意】

1. 使用前に照明用光源ランプの点灯を確認すること。
2. 照明用光源ランプの光量が弱い時には乾電池を新しいものに交換するか、充電電池を充電してから使用すること。
3. 乾電池仕様か充電地仕様かの識別はハンドル底面の色で行う。
底面が赤いハンドルは充電電池仕様。
底面が青いハンドルは乾電池仕様。
4. 交換用光源ランプには2種類あるので注意をすること。
底面に赤い円が描かれている交換ランプは、充電電池用 3.6V 仕様。
底面に青い円が描かれている交換ランプは、乾電池用 2.8V 仕様。

【保管方法及び有効期間等】

1. 本製品は精密医療機器であり、埃等の付着を防ぐために必ず専用ケースに入れて保管すること。
2. 長期間使用しない場合には本製品より電池を抜いて保管すること。

【取扱い上の注意】

本製品は精密医療機器であり、取り扱いには充分注意を払うこと。

【保守・点検に係る事項】

1. 定期的を目視で点検し、レンズ部分はレンズクリーニングクロスで清掃すること。
2. 充電電池のものは定期的に充電電池を充電すること。
3. 乾電池式のものは定期的に乾電池を新しいものと交換すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

1. 製造販売業者：
株式会社 キーラー・アンド・ワイナー
TEL：03-3815-7787
2. 製造業者：
Keeler Ltd.（キーラー社：英国）

取扱説明書を必ずご参照下さい。